

会報

公益財団法人 古紙再生促進センター



第44巻第4号

10

2018

- ◆ 紙リサイクル出前授業の上半期実施結果
- ◆ 地域広報活動（各地区のイベント報告）
北海道地区／東北地区／中部地区／中・四国地区
- ◆ 第十九回夏先生のチャイナレポート
- ◆ 欧州・米国の古紙統計



目 次

・ センター新入職員のご紹介	1
----------------------	---

活 動 報 告

出前授業

・ 紙リサイクル出前授業上半期実施結果	2
---------------------------	---

紙リサイクル意見交換会

・ 中部地区委員会東海分会 紙リサイクル意見交換会	7
---------------------------------	---

地域広報活動

・ リサイクル・ペーパー・フェア（北海道地区委員会）	8
・ 仙台エコフェスタ 2018（東北地区委員会）	9
・ 環境デーなごや 2018（中部地区委員会）	10
・ 岩国環境フェスタ 2018（中・四国地区委員会）	11

海 外 情 報

・ 第十九回 夏先生のチャイナレポート	12
・ 2017 年欧州製紙連合会構成国における古紙回収及び消費動向概要	14
・ 米国の古紙統計（2008 年～ 2017 年）	18

センター日誌	23
--------------	----

お 知 ら せ

・ ホームページのリニューアルについて	25
---------------------------	----

（表紙）

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2017

ポスター中学生部門 金賞作品

浜松市立南部中学校 1 年 金城 カロリナ

タイトル「よく見れば資源はいっぱい」

センター新入職員のご紹介

当センター本部の新職員を紹介します。



- ①氏名 櫻井 孝史（さくらい たかし）
- ②役職 事務局長
- ③生年月日 昭和 33 年 11 月 2 日
- ④入職年月 平成 30 年 8 月 1 日
- ⑤略歴 経済産業省出身
最終官職 経済産業省大臣官房付
(内閣府大臣官房遺棄化学兵器処理担当室企画官)
- ⑥一言コメント ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



- ①氏名 甲斐 和生（かい かずお）
- ②役職 技術担当部長
- ③生年月日 昭和 26 年 9 月 7 日
- ④入職年月 平成 30 年 2 月 1 日
- ⑤略歴 旧本州製紙入社⇒
王子製紙（合併）／研究所・本社・工場研究技術部門
- ⑥一言コメント 結構しつこい性格で、何事も分析的に考えるのが好きです。



- ①氏名 金谷 信章（かなたに のぶゆき）
- ②役職 国際担当部長
- ③生年月日 昭和 27 年 10 月 7 日
- ④入職年月 平成 30 年 1 月 1 日
- ⑤略歴 旧本州製紙⇒ストーンコンテナージャパン(米国製紙会社)
⇒クラフトライナー、木材チップ、パルプ、古紙の販売を
担当
- ⑥一言コメント 製紙原料のトータル知識の集大成として古紙業務に取り組
んでいきたい。

紙リサイクル出前授業の上半期実施結果

センターでは紙リサイクルに関する理解を深め、紙リサイクル体制の維持・発展に資することを目的とした「紙リサイクル出前授業」を実施しています。小学生を主な対象としていますが、中学校からも依頼があり、平成 30 年度上半期は全国の小中学校、37 校で出前授業を実施しましたので各地区の実施結果をご紹介します。

<東北地区委員会>

東北地区は宮城県の 1 校で実施しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成 30 年 9 月 11 日	石巻市立釜小学校	4 年生 (2 クラス)	(株) 齋武商店

<関東地区委員会>

関東地区は埼玉県で 1 校、東京都で 1 校、神奈川県で 2 校の合計 4 校で実施致しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成 30 年 5 月 14 日	朝霞市立朝霞第四小学校	4 年生 (3 クラス)	(株) 梶谷商事、栗原紙材 (株)、(株) ブシュー、三弘紙業 (株)、むさし野紙業 (株)、(公財) 古紙再生促進センター
7 月 10 日	逗子市立池子小学校	4 年生 (2 クラス)	(株) 兼子、(株) 金澤紙業、レンゴー (株)、(公財) 古紙再生促進センター
8 月 23 日	狛江市立緑野小学校	3 年生～6 年生 (1 クラス)	(株) 梶谷商事、(株) 小池商店、(株) 下田商店、(公財) 古紙再生促進センター
9 月 27 日	横浜市立新吉田第二小学校	4 年生 (3 クラス)	むさし野紙業 (株)



【実施校からの感想】

- ・講義だけでなく紙すきができたのも、児童にとってリサイクル活動への意欲の喚起につながったように思います。授業後、給食での牛乳パック回収にも意識して取り組もうとする児童が見られました。

<静岡地区委員会>

静岡地区は県内の 8 校で実施致しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成 30 年 6 月 28 日	富士市立大淵第二小学校	4 年生 (1 クラス)	(株) 丸元紙業、渡辺商店、(株) 日刊紙業通信社、(公財) 古紙再生促進センター
6 月 29 日	富士市立青葉台小学校	4 年生 (3 クラス)	(株) 丸元紙業、三和商工 (株)、こづか (株)、(株) 二見、(公財) 古紙再生促進センター
7 月 3 日	富士市立吉永第一小学校	4 年生 (2 クラス)	(株) 丸元紙業、(株) アカツキ、松岡紙業 (株)、(株) スギヤマ紙業、(株) 高野実業、(株) 丸興佐野錦一商店、(株) 堤紙業、(株) 日刊紙業通信社、(公財) 古紙再生促進センター

実施日	実施校	クラス	講師
7月 9日	富士宮市立 貴船小学校	5年生 (3クラス)	(株)アカツキ、(株)丸元紙業、(公財)古紙再生促進センター
7月11日	富士市立 丘小学校	4年生 (5クラス)	(株)鈴剛、渡辺商店、こづか(株)、(株)高野実業、(株)丸興佐野 錦一商店、(株)丸元紙業、(株)日刊紙業通信社、(公財)古紙再生促 進センター
7月20日	富士市立 須津小学校	4年生 (4クラス)	(株)アカツキ、こづか(株)、(株)二見、(株)丸元紙業、(株)日刊 紙業通信社、(公財)古紙再生促進センター
9月 6日	富士市立 伝法小学校	4年生 (4クラス)	(株)アカツキ、(株)丸元紙業、渡辺商店、(株)丸興佐野錦一商店 (株)日刊紙業通信社、(公財)古紙再生促進センター
9月11日	富士市立 富士川第二小学校	4年生 (2クラス)	(株)アカツキ、(株)丸元紙業、松岡紙業(株)、安藤紙業(株)、日 本製紙(株)、(株)日刊紙業通信社、(公財)古紙再生促進センター



【実施校からの感想】

- ・子ども達は知っているようで知らないことがたくさんあり、話を聞く事で学ぶことが多く良かったです。
- ・子どもの頃から、このような体験や学びがとても大切であることが、子どもの感想からよくわかりました。

<中部地区委員会>

中部地区は愛知県で17校、三重県で1校、岐阜県で1校の合計19校で実施致しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成30年 5月30日	桑名市立桑部小学校	4年生(1クラス)	北勢商事(株)
6月 1日	名古屋市立伝馬小学校	4年生(2クラス)	福田三商(株)
6月 5日	名古屋市立廿軒家小学校	4年生(4クラス)	河村商事(株)
6月 5日	名古屋市立金城小学校	4年生(2クラス)	北勢商事(株)
6月 7日	名古屋市立弥富小学校	4年生(4クラス)	(株)宮崎
6月 8日	名古屋市立豊治小学校	4年生(3クラス)	(株)石川マテリアル
6月14日	名古屋市立港西小学校	3年生(2クラス)	(株)宮崎
6月19日	名古屋市立大野木小学校	4年生(3クラス)	グリーンリメイク(株)、一宮製紙原料(株)、興亜商 事(株)、(株)藤川紙業
6月20日	名古屋市立米野小学校	4年生(1クラス)	河村商事(株)
6月21日	名古屋市立光城小学校	4年生(3クラス)	グリーンリメイク(株)、一宮製紙原料(株)、興亜商 事(株)、(株)藤川紙業
6月27日	名古屋市立城北小学校	4年生(3クラス)	河村商事(株)
7月10日	名古屋市立呼続小学校	4年生(2クラス)	福田三商(株)
7月11日	名古屋市立内山小学校	4年生(1クラス)	(株)石川マテリアル
7月13日	名古屋市立藤が丘小学校	4年生(3クラス)	(株)石川マテリアル
9月14日	東郷町立高嶺小学校	4年生(3クラス)	(株)石川マテリアル
9月18日	名古屋市立平針南小学校	4年生(2クラス)	(株)石川マテリアル
9月19日	名古屋市立日比津小学校	4年生(2クラス)	(株)宮崎
9月25日	東郷町立音貝小学校	4年生(2クラス)	(株)石川マテリアル
9月25日	岐阜市立厚見中学校	1年生(1クラス)	グリーンリメイク(株)、(公財)古紙再生促進センター



【実施校からの感想】

- ・紙の原料のにおいのかいだり、紙すきをしたりすることができ、楽しんで学びました。作り終えた後は「楽しかった」という感想がたくさんありました。
- ・実際に紙に生まれ変わる体験は子どもたちにとって、よりリサイクルの関心が高まったと思います。生き生きと紙すきに取り組む子どもたちの様子を見て、出前授業をお願いして良かったなと思いました。

<近畿地区委員会>

近畿地区は兵庫県の2校で実施致しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成30年 7月 9日	播磨高原東小学校（たつの市）	4年生（1クラス）	上野紙料（株）
9月28日	たつの市立揖保小学校	4年生（1クラス）	上野紙料（株）

【実施校からの感想】

- ・とても分かりやすく、おもしろい授業でした。子ども達はリサイクルに大変興味をもったと思います。

<中・四国地区委員会>

中・四国地区は香川県の2校で実施致しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成30年 7月11日	高松市立高松第一小学校 高松市立高松第一中学校	6年生（1クラス） 1年生（1クラス）	丸八商工（株）

【講師の感想】

- ・座学で用いたテキスト「楽しく学ぼう紙のリサイクル」は内容が変更になりましたが使いやすく、予定通り行えました。社内担当も慣れてきたこともありスムーズにできています。

<九州地区委員会>

九州地区は佐賀県の1校で実施致しました。

実施日	実施校	クラス	講師
平成30年 8月24日	江北町立江北小学校	4年生（3クラス）	（株）イワフチ



【実施校からの感想】

- ・子どもたちも担任も楽しみながら意欲的に学習体験ができ、参考になりました。

紙リサイクル出前授業の上半期実施結果（センター会員実施）

紙リサイクル出前授業は、センター各地区委員会が行うものとは別に、会員企業が独自に行っているものもあり、上半期は57の学校等で実施いたしましたので、ご紹介いたします。

実施日	都道府県	実施対象	講師
平成30年 4月18日	岡山県	岡山市立大元小学校	明和製紙原料（株）
5月1日	岡山県	岡山市立馬屋下小学校	//
5月2日	岡山県	岡山市立福島小学校	//
5月10日	岡山県	岡山市立御津南小学校	//
5月11日	岡山県	岡山市立江西小学校	//
5月12日	奈良県	三宅町役場	//
5月15日	岡山県	岡山市立可知小学校	//
5月18日	岡山県	岡山市立高島小学	//
5月21日	愛知県	新蟹江小学校	//
5月22日	岡山県	岡山市工コ技術研究会	//
5月23日	岡山県	岡山県立まきび支援学校	//
5月23日	岡山県	岡山市立小串小学校	//
5月24日	岡山県	岡山市立芳明小学校	//
5月25日	岡山県	岡山市立福田小学校	//
5月25日	岡山県	岡山市立伊島小学校	//
5月29日	岡山県	真庭市立落合小学校	//
6月1日	岡山県	岡山市立西小学校	//
6月1日	岡山県	赤磐市立山陽北小学校	//
6月2日	愛知県	大口南小学校	//
6月4日	岡山県	岡山市立三門小学校	//
6月7日	岡山県	岡山市立桃ヶ丘小学校	//
6月8日	山口県	岩国市立平田小学校	光井興産（有）
6月11日	山口県	岩国市立灘小学校	//
6月13日	岡山県	岡山市立鯉山小学校	明和製紙原料（株）
6月18日	岡山県	岡山市立第一藤田小学校	//
6月20日	岡山県	岡山市立政田小学校	//
6月22日	新潟県	新潟市立白山小学校	//
6月22日	新潟県	新潟市立巻南小学校	//
6月23日	岡山県	岡山市立牧石小学校	//
6月25日	滋賀県	近江八幡市立八幡小学校	//
6月28日	岡山県	岡山市立第三藤田小学校	//
6月28日	東京都	東京都産業教育振興会	//
6月29日	千葉県	柏市立田中小学校	//
6月29日	千葉県	柏市立田中北小学校	//
7月3日	岡山県	岡山市立岡南小学校	//

実施日	都道府県	実施対象	講師
7月 4日	岡山県	岡山県立岡山支援学校	//
7月 4日	愛知県	飛島学園	//
7月 4日	愛知県	大口南小学校	//
7月 5日	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	//
7月 8日	香川県	高松市栗林コミュニティー	//
7月11日	兵庫県	加古川市環境局	//
7月25日	岡山県	放課後デイサービス よつばのクローバー	//
7月30日	—	ブータンからの視察班	//
8月 7日	岡山県	放課後デイサービス よつばのクローバー長船	//
8月 8日	岡山県	作東愛寿大学（美作市）	//
8月10日	長崎県	平戸市教育委員会主催 初任者研修	//
8月10日	岡山県	岡山市立城東台小学校 学童保育	//
8月17日	岡山県	岡山医療生協児童向けイベント	//
8月18日	岐阜県	平和堂アルプラザ鶴見店 リサイクルハガキ作りイベント	//
8月29日	岡山県	岡山市教育委員会主催 初任者研修	//
9月13日	岡山県	岡山医療生協	//
9月14日	岡山県	岡山市立幡多小学校	//
9月14日	山口県	岩国市立平田小学校	光井興産（有）
9月26日	岡山県	岡山市立曾根小学校	明和製紙原料（株）
9月27日	島根県	安来市立島田幼稚園	（株）樋口敦郎商店
9月27日	岡山県	真庭市立中和小学校全校	明和製紙原料（株）
9月28日	東京都	荒川区立第六日暮里小学校	//



中部地区委員会東海分会 紙リサイクル意見交換会

センターでは地方自治体と製紙・古紙業界等との連携を図る目的で紙リサイクル意見交換会を実施しています。中部地区委員会東海分会は、各自治体の皆様へ情報発信するとともに、雑誌古紙・雑がみの扱いをどのように協力して進めていくか話し合うきっかけとして、意見交換会を開催しました。

日時 平成 30 年 7 月 30 日（月）14 時～16 時

場所 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち）10 階 1003 号室

参加自治体
愛西市、一宮市、稲沢市、岩倉市、岡崎市、蒲郡市、北名古屋市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、東海市、常滑市、豊明市、豊田市、豊橋市、名古屋市、半田市
参加企業・団体
（株）石川マテリアル、王子エコマテリアル（株）、王子マテリア（株）、河村商事（株）、（株）宮崎、リメイキング（株）、日刊紙業通信、中部商組、（公財）古紙再生促進センター、名古屋市議

【紙リサイクルの現状と課題】

中部地区委員会より紙リサイクルの現状として、古紙業界・分別の必要性・禁忌品・回収率利用率の推移・中国及び世界の変化等について説明しました。

また、これからの課題として、品質を維持するためには雑誌と雑がみの分別・紙製容器包装及び禁忌品の混入防止が重要になることを説明しました。



【各自治体からの意見】

説明を受けて、各自治体から以下のような意見がありました。

- ・ 中国の環境規制により分別及び禁忌品の混入を防ぐことの重要性は理解できます。しかし、我々が一番優先しているのはゴミの減量であり、そのために紙の分別排出を徹底するという方向性は同じですが、排出者が簡単に排出できることを考えることも重要です。例えば牛乳パックは開いて洗浄して排出することが求められますが、面倒という理由でゴミに出されることもあります。また、異物の混入防止もメーカーでの対策により緩和して排出者の便宜を図ることも重要だと思われます。
- ・ 資源化できる紙がゴミに混入していることも多いため、減量できるようにしたいです。
- ・ 禁忌品等、市民の理解度が低いものもあるので、啓発を行いたいです。

リサイクル・ペーパー・フェア

平成30年9月16日（日）旭川市で開催された「旭川食べマルシェ2018」において、北海道地区委員会は、「リサイクル・ペーパー・フェア」ブースを設け、資料の配布や体験型のイベントを通して来場者に紙リサイクルへの協力を呼びかけました。北海道地区委員会は、以下の5つの取り組みを行いました。

1. 啓発資料などの配布

古紙の分別と禁忌品混入防止を促すリーフレットや、紙リサイクルノート等を来場者の方々に配布しました。



【古紙分別体験】

2. 古紙分別コーナー

家庭で発生する古紙を「新聞」、「雑誌」、「段ボール」、「紙パック」、「紙類」、「禁忌品（どれにも該当しない物）」に分類してボックスに振り分けて頂く、分別コーナーを設けました。

3. 工作コーナー

紙に親しむ場として、ペーパークラフト工作を楽しめる工作コーナーを設けました。子ども達は保護者や担当者に教えてもらい真剣な表情で、ペーパークラフトを作り上げていました。



【工作体験】

4. 紙すきコーナー

紙が出来上がる工程を学んでもらう目的で、紙すきコーナーを設けました。世界で1枚のオリジナルのハガキが完成し、子ども達はとても喜んでいました。

5. 古紙利用製品展示

古紙を利用したトイレットペーパーや、ノート等を展示し、身の回りの古紙が使われている製品について説明を行いました。

イベント開催前に北海道胆振東部地震が発生し開催が危ぶまれましたが、無事に開催に至り、沢山の来場者があったことを嬉しく思います。イベントを通して紙のリサイクルについて伝えることができ、充実した取り組みとなりました。

会社名・団体名	
日本製紙（株）	北海紙業（株）
王子エコマテリアル（株）	栗原紙材（株）
北海紙管（株）	旭川協栄紙業（株）
北昭興業（株）	（株）丸升増田本店
（株）苫小牧協和サービス	（株）藤川紙業
（株）長勢紙業	（株）マテック
（株）深田商店	（公財）古紙再生促進センター

仙台エコフェスタ 2018

平成 30 年 9 月 2 日（日）仙台市勾当台公園市民広場において「仙台エコフェスタ 2018」が開催され、東北地区委員会は紙すき体験や古紙の分別クイズ、啓発資料の配布を通して来場者へ紙リサイクルの啓発活動を行いました。ブースには約 200 人の来場者があり、活気ある活動となりました。

今回は以下の 4 つの取り組みを行いました。

1. 紙すき体験「古紙からハガキを作ろう」

紙のリサイクルを体験的に学んでもらうことを目的に、紙すき体験コーナーを設けました。古紙パルプを紙すき枠に流し入れ、パルプから水を抜いて固め、アイロンで乾かして最後に郵便番号のスタンプを押してハガキが完成します。紙すき体験は特に子ども達に好評で、紙がリサイクルされる工程を楽しみながら学んでいました。



【紙すき体験】

2. 分別体験クイズ

リサイクル出来る古紙かどうかを○×クイズで解答してもらいました。解答者からの疑問には掲示してあるパネルを見ながら答える事で、とても分かり易いと好評でした。



【分別体験クイズ】

3. 啓発資料・ノベルティ配布

来場者へ啓発用リーフレット、紙リサイクルノート、古紙鉛筆を配布し、紙リサイクルの啓発を行いました。

4. 啓発パネルの展示

紙リサイクルの必要性や古紙分別の必要性、禁忌品等について説明したパネルを展示し、分別体験クイズで解説をする時にも活用しました。

多くの方にお越しいただき賑わいのある活動となりました。分別体験クイズなどの新しい取り組みも好評で、紙のリサイクルについて、分かりやすく伝えることができたと思います。



【出展ブースの様子】

会社名・団体名	
日本製紙(株)石巻工場	(株) 山傳商店
山形資源 (株)	(株) サイコー
(株) 丸佐商店	日本製紙木材 (株)
(株) 庄子専助商店	(株) 丸石商店
(株) SRC	(公財) 古紙再生促進センター

環境デーなごや 2018

平成 30 年 9 月 15 日（土）、名古屋市の久屋大通公園において「環境デーなごや 2018」が開催されました。降雨の中での開催となりましたが、足元の悪い中、11 万人もの来場者がありました。「環境デーなごや」は、市民・事業者・行政の協働のもと、より良い環境づくりに向けて具体的な行動を実践する契機となる行事として 2001 年から始まりました。

中部地区委員会は分別ゲームの実施やパネル展示を通して紙リサイクルの啓発活動を行いました。

分別ゲームは、雑がみと紙製容器包装紙を混ぜ入れたバケットの中から雑がみ 5 つを選別して手籠に入れてもらうゲームで、雑がみ以外の物を入れた方には、スタッフが解説しながら、再度分別をしていただくという形で分別協力を促しました。

分別ゲームを終えた方にアンケートへの回答をお願いし、約 100 人に回答いただきました。『紙製容器包装と雑がみの分別は普段どうしていますか』という問いに対して、両方とも分別していると回答した方は 60.6%で、昨年と比べ 5.6 ポイント増加し、名古屋市在住の方に限ると 64.5%で 6.7 ポイント増加し、分別への意識が高まっていることが感じられました。

ブースには 500 名近い方にお越しいただき、ゲームに参加いただいたことをうれしく思います。ゲーム感覚で楽しみながら分別について取り組むことで、理解が深まったのではないかと感じます。



【参加者一同】



【出展ブース】



【分別ゲームの様子】

参加企業・団体名	
(株) 石川マテリアル	中部製紙原料商工組合
名古屋紙業 (株)	(株) オノセイ
リメイキング (株)	河村商事 (株)
一宮紙原料 (株)	永井産業 (株)
グリーンリメイク (株)	二チモウ商事 (株)
(株) 紙資源名古屋	大栄紙業 (株)
(株) 藤川紙業	(公財) 古紙再生促進センター
(株) 宮崎	

「岩国環境フェスタ 2018」

平成 30 年 6 月 2 日（土）山口県岩国市の岩国市役所 1 階多目的ホールにおいて、「岩国環境フェスタ 2018」が開催されました。中・四国地区委員会の光井興産有限会社は、資料の配布や紙すき体験等を通して来場者に紙リサイクルへの協力を呼びかけました。ブースでは以下の 3 つの取り組みを行いました。

1. 啓発資料などの配布

紙リサイクルの理解を深めてもらうことを目的として、古紙の分別と禁忌品混入防止を促すリーフレットや、紙リサイクルノートなどを来場者の方々に配布しました。センターのマスコットキャラクター「カミリイママ」は好評で、子ども達に囲まれ注目を集めていました。



【ブースの様子】

2. 紙すき体験

紙がリサイクルされる過程を紙すきを通して体験してもらい、参加者は紙が生まれ変わる様子に興味深々で、楽しみながら参加されていました。



【紙すき体験】

3. 啓発パネルなどの展示

紙リサイクルについて理解を深めていただくため、紙リサイクルに関するパネルや、古紙の見本、紙の原料となる木材チップやパルプを展示しました。



【啓発パネルなどの展示】

第十九回 夏先生のチャイナレポート

直轄市－北京市、上海市の生活ゴミ分類管理活動計画（2017年－2020年）

始めに

真剣に国务院の「生活ゴミ分類制度実施法案」の通知を貫徹し、生活ゴミ分類を推進するために、北京市は2017年－2020年までの生活ゴミ分類管理活動計画を制定し公布した。詳しい内容は下記の通りである。

一、北京市の目標

1. 徐々にゴミ分類制度実施範囲を拡大する

まず政府部門から先に生活ゴミ強制分類を開し、年々強制分類の範囲を拡大する。2020年末までに、基本的に北京市全地域のすべての公共機関や関連企業の生活ゴミ強制分類を実現する。また、ゴミ分類模範区を建設し、2018年末までに模範区の比率は30%、2019年に60%、2020年に90%に達するように努力する。

2. 確実にゴミの分類や減量の効果を高める

「乾燥ゴミ及び湿ゴミを分ける」ことと資源化利用を強化し、ゴミの減量や処理施設運行の圧力緩和を促進する。ゴミ焼却及び埋め立て処理する生活ゴミの量は年々減少する。即ち、2018年に12%ぐらい、2019年に8%ぐらい、2020年に4%ぐらいに減減するように努力する。

二、北京市の重点任务

1. 公共機関のゴミ強制分類実施を推進する

まず党政機関から厳格にゴミ強制分類基準を守って実施する。台所ゴミや回収可能物、有害ゴミ及び其の他のゴミを分類投棄、分類収集、分類輸送、分類処理する。徐々にゴミ強制分類を其の他の公共機関及び関連企業まで拡大するように努力する。

2. ゴミ分類模範区を建設する

ゴミ分類模範区建設の資金投入に力を入れる。そして、ゴミ分類模範区建設基準を制定し、2017年に区毎に少なくとも一箇所のゴミ分類模範区団地（或いは郷鎮＝農村部）を建設完了（竣工）。2019年末に市全体のゴミ分類模範区は60%に達する。東城区、西城区はまずゴミ分類制度100%実施を実現し、2020年末に北京市の模範区ゴミ分類比率は90%に達する。

3. ゴミ分類管理責任制を実施する

厳格に「北京市生活ゴミ管理条例」の規定により、違う区域や場所のゴミ分類管理責任制を実施し、ゴミ分類管理責任者の管理責任を監督する。

4. 住民の台所ゴミ分類管理を強化する

居住民は日常台所ゴミの水分を出してから個

別に保管し、台所ゴミ収集容器に投棄する。また、大桶小桶、定時場所指定の収集方式を奨励する。台所ゴミ「分類しない、回収輸送しない」場合、罰金という政策を試行する。また、徐々に「有料収集」を実施する。

5. 台所ゴミ処理施設の建設を速める

2017年に、豊台区台所ゴミ処理工場、順義区台所ゴミ処理工場、通州区有機資源生態処理工場の建設が完成する。2018年末までに魯家山台所ゴミ処理工場を建設し稼動する。その他に房山総合処理工場等台所処理の施設や海淀区、通州区、豊台区等の台所ゴミ総合利用施設を建設し、台所ゴミの無害化処理と資源化利用の技術を高め、台所ゴミと汚泥、糞便などと一緒に処理するように努力する。

6. 再生資源分類選別センター建設のテンポを速める

2017年に東城区、西城区、石景山区を除き、其の他の各区は少なくとも一箇所の再生資源建設場所を指定しなければならない。朝陽区、海淀区、豊台区、門頭溝区、通州区、懷柔区、延慶区は2019年末までに、其の他の区は2020年末までにそれぞれ少なくとも一箇所の再生資源分類選別センターを建設しなければならない。東城区、西城区、石景山区は関連区と共同で建設に参加し、共に再生資源処理施設を利用する。

三、上海市の目標

1. 上海市も同様、国务院の「生活ゴミ分類制度実施法案」を貫徹し、有効的にゴミの総合管理効果増強、生活ゴミの「減量化、資源化、無害化」の水準を高め、生態文明と社会文明を促進させ、上海市のゴミ全部分類システムを打ち立てる。即ち、生活ゴミの分類投棄、分類収集、分類輸送、分類処理のシステムを打ち立てる。そして、政府、企業、住民など各方面の役割を発揮し、社会全体の管理レベルを高める。

2. 上海市の目標は2020年末までに、基本的に生活ゴミ強制分類制度を実現する。各住宅団地は普遍的に生活ゴミ分類制度を実施する。そして、生活ゴミの無害処理の能力は一日に3.28万吨以上に達する。湿ゴミの資源化利用能力は一日に7千トンに達する。生活ゴミの回収資源化利用率は35%に達し、生活ゴミの「減量化、資源化、無害化」の水準は全国の先頭に立つ。

四、上海市の主要任務

主要任務は全面的に生活ゴミ強制分類を実施することである。

1. 生活ゴミ分類の基準を明確にする。生活ゴミを四種類に分けている。即ち「有害ゴミ、回収可能物、湿ゴミ、乾燥ゴミ」の四種類である。

①有害ゴミ：廃棄電池（すべての乾電池、蓄電池含む）、廃棄蛍光灯（すべての蛍光灯、白熱電球含む）、廃棄温度計、血压計、廃棄薬品及びその包装物、廃棄油塗料、溶剤及びその包装物、廃棄殺虫剤及びその包装物、廃棄フィルム及び感光紙（印画紙）など。

②回収可能物：古紙、プラスチック、金属、織物、硝子、廃棄電器電子製品、古複合包装など回収循環利用可能及び資源化利用類廃棄物。

③湿（濡れ）ゴミ：各家庭の日常台所ゴミや食品加工の滓など腐り易いゴミ、農産物市場、農産品卸し市場などの野菜及び果物ゴミ、腐肉、粹骨、玉子殻、家畜の内臓など腐り易いゴミ。

④乾燥ゴミ：汚れ破損後回収利用し難い包装物、ティッシュ、トイレットペーパー、おむつ、竹木切れ及び陶磁器破片など。

まずは、生活ゴミ分類の収集容器設置を規範化する。特に住宅団地、政府部門、企業、学校、公衆場所などは規定により、分類収集と保管容器を設置しなければならない。

2. 強制分類実施範囲を拡大する

2018 年末までに、まず党政機関及び公衆機構が自らゴミ強制分類を実施し、それから企業、住民の順で展開する。そして、生活分類の模範村、模範郷鎮を建設する。2020 年までにすべての住宅団地はほとんど生活ゴミ分類制度を実現する。即ち 2018 年に静安区、長寧区、奉賢区、松江区、崇明区、浦東新区は先に生活ゴミ分類を実現する。また、三箇所の全国農村ゴミ分類模範区を建設する。全市に 700 箇所のゴミ分類模範行政村を建設する。

3. 生活ゴミ分類の能力を高める

ゴミ無害化処理及び資源化利用のシステムを打ち立てる。生活ゴミ分類処理は全市で「大循環」、区内で「中循環」、郷鎮で「小循環」というシステムをうまく結びつけて、引き続きゴミ無害化処理の水準を高める。

4. 末端処理能力のアップに力を入れる。

乾燥ゴミ無害化処理水準を高めるため、再生資源利用センター建設のテンポを速め、浦東区、宝山区に新しくゴミ処理施設を建設する。松江区、金山区、奉賢区、嘉定区、崇明区などでゴミ処理施設を増築する。また、新しく一日あたり 1.23 万トンの焼却能力がある焼却炉を増築する。

5. 法律保障に力を入れる

法定により上海市の生活ゴミ強制分類制度の地方法規を制定する。過度な包装を制限し、使い捨て、ゴミ分類違法行為に対して、懲罰制度を制定し実施する。さらに、生活ゴミ処理施設建設費補償制度を実施し、各区の生活ゴミ処理施設建設を促進させる。また、徐々に機関・団体の生活ゴミの有料収集や住民の生活ゴミ有料収集制度を促進させる。

6. 監督管理を強化する

政府は法律により監督し、環境保護部門は専門的に監督する。要するに、社会大衆はみんな生活ゴミ分類の全過程監督に参加するという総合的な監督システムを打ち立てる。

7. 宣伝及び指導に力を入れる

生態文化建設を強化すると同時に、住民全体参加、グリーン発展、グリーン生活意識、積極的にさまざまな宣伝教育に力を入れ、ゴミ分類の知識を普及する。即ちゴミ分類に関するマスコミ宣伝、団地内宣伝、各家庭までの宣伝などを展開する。社会組織やボランティア（義務参加者）の役割を発揮し、住民のゴミ分類を指導し、時を移さずゴミ分類の良い経験を総括し、推進する。

終わりに

北京市や上海市はいち早く詳しい分類管理計画を制定し、実施し始めた。他の二つの直轄市（天津市、重慶市）も同様、それぞれ中央政府の指示に従って、直轄市に合うような「生活ゴミ分類管理活動計画」を制定し、実施し始めている。その主要内容は北京市、上海市とほぼ同じであるため、省略することにする。

ここで、特に強調したいことは、どの直轄市も「ゴミ分類宣伝教育基地」建設のテンポを速め、ゴミ処理の施設を市民たちに公開し、定期的に市民たちに見学してもらっている。目的はほかでもなく、市民たちに環境保護の意識を増強させ、自らゴミ分類の理念を樹立するように努力することである。同時に、幼稚園や小学校から大学までゴミ分類の模範キャンパスを建設し、ゴミ分類普及活動を展開している。すでにゴミ分類の知識や重要性を幼稚園、小学校、中学校の教育内容にした。即ち、「小手拉大手」（子供の手で大人の手をつなぐ）というキャンペーンを展開している。

上述の法律法規及び施設、活動などを通じて、「生活ゴミ分類制度」だけでなく、あらゆるゴミの分類再生資源化は近い将来、かならず日本のように、「法律化、規範化、制度化、常識化、常態化」されるに違いないと信じている。

2017 年欧州製紙連合会構成国における 古紙回収及び消費動向概要

欧州製紙連合会（Confederation of European Paper Industries[CEPI]）のホームページ⁽¹⁾に「Key Statistics 2017」と題して、欧州製紙連合会構成国⁽²⁾の紙・パルプ主要統計が発表されましたので、以下に古紙関係の統計を紹介します。

1. 古紙の回収量と消費量及び利用率とリサイクル率

2017 年 CEPI 構成国全体の古紙回収量は前年に対し 683 千トン増加し 56,827 千トンとなり、古紙消費量は前年に対し 667 千トン増加し 48,292 千トンとなっている。

古紙利用率^(注1)は前年に比べ 0.1 ポイント減少し、52.4%となっている。

ヨーロッパ^(注2)古紙リサイクル率^(注3)は前年に比べ 0.3 ポイント上昇し、72.3%となっている(表1)。

表 1 古紙関連の統計データ

項 目	1991 年	2000 年	2005 年	2010 年	2016 年	2017 年	対前年比 (%)	対 2000 年比 (%)
紙・板紙生産量 (千 t)	65,052	90,823	98,259	95,065	90,778	92,173	1.5	1.5
紙・板紙消費量 (千 t)	60,102	82,065	86,369	81,684	77,327	77,714	0.5	-5.3
古紙回収量 (千 t)	25,452	43,658	53,100	55,917	56,144	56,827	1.2	30.2
古紙消費量 (千 t)	25,360	40,922	46,745	48,122	47,625	48,292	1.4	18.0
古紙利用率 ^(注1) (%)	39.0	45.1	47.6	50.6	52.5	52.4	-0.1	7.3
ヨーロッパ ^(注2) 古紙リサイクル率 ^(注3) (%)	40.3	51.8	61.8	68.5	72.0	72.3	0.3	20.5

(注 1) 古紙利用率 = (古紙消費量) / (紙・板紙生産量) × 100

(注 2) ここでのヨーロッパは、EU-28 ヶ国にノルウェー、スイスを含めたもの

(注 3) 古紙リサイクル率 = (古紙消費量 + 純古紙貿易量) / (紙・板紙消費量) × 100

2. 古紙の輸出入量

2017 年の全輸出力は前年に対し 80 千トン増加し 10,646 千トンとなり、輸出先としてはアジア地域が最も多く、全体の 89.4%がこの地域に輸出している(表2)。一方、全輸入量は前年に対し 64 千トン増加し 2,110 千トンとなり、輸入先としては CEPI 構成国以外のヨーロッパ地域から全体の 81.9%、北アメリカ地域から同 10.1%を輸入している(表3)。

表 2 古紙の輸出量

(単位：千 t)

地 域	年	2000 年	2005 年	2010 年	2016 年	2017 年		
						輸出量	割合 (%)	対前年比 (%)
その他のヨーロッパ		676	444	373	832	1,078	10.1	29.6
北 ア メ リ カ		47	22	27	2	2	0.0	2.5
ラ テ ン ア メ リ カ		7	5	21	9	35	0.3	296.3
ア ジ ア		2,894	7,087	9,157	9,712	9,517	89.4	-2.0
そ の 他 の 地 域		127	140	14	11	14	0.1	23.0
合 計		3,751	7,698	9,592	10,566	10,646	100.0	0.8

表 3 古紙の輸入量

(単位：千 t)

地 域	年	2000 年	2005 年	2010 年	2016 年	2017 年		
						輸入量	割合 (%)	対前年比 (%)
その他のヨーロッパ		735	1,131	1,596	1,751	1,729	81.9	-1.3
北 ア メ リ カ		264	199	184	236	214	10.1	-9.5
ラ テ ン ア メ リ カ		0	4	3	26	22	1.1	-15.0
ア ジ ア		9	0	6	12	10	0.5	-14.0
そ の 他 の 地 域		7	9	8	21	136	6.4	555.2
合 計		1,015	1,343	1,796	2,046	2,110	100.0	3.1

3. 2017 年の古紙消費動向

2017 年の製紙原材料に占める古紙割合は 46.4% で、2016 年の 46.2% より 0.2 ポイント増加している。

2017 年の古紙の消費先は段ボール原紙が最も多く、26,863 千トン消費し全体の 55.7% を占めている。次に多いのが、新聞用紙で 5,623 千トン消費し全体の 11.7% を占めている。次に包装紙で 4,695 千トンを消費し全体の 9.7% を占めている（表 4、表 5、図 1、図 2）。

製品品種別の古紙利用率は、新聞用紙が最も高く 93.1% で、段ボール原紙 92.2%、包装紙 53.8% の順となっている。一方、最も利用率が低いのはその他印刷用紙 12.8% となっている（表 5、図 3）。

古紙品種別消費量は段ボール古紙が最も多く 24,787 千トンで、全消費量の 51.4% を占めている。次いで、ミックス古紙、新聞・雑誌古紙、その他の古紙の順になっており、それぞれの消費量は 9,228 千トン、9,210 千トン、5,032 千トンで、構成比はミックス古紙と新聞・雑誌古紙が 19.1%、その他の古紙が 10.4% となっている（表 5、図 4）。

CEPI 構成国別古紙消費量を見ると、最も多いのはドイツで全消費量の 35.5% を占めている。次いでフランス 11.1%、スペイン 10.4%、イタリア 10.3%、イギリス 6.5% と続いている（図 5）。

最後に、CEPI 構成国の紙・パルプ産業における原材料から製品になるまでの物流の流れを図示している（図 6）。

表 4 CEPI 構成国の製紙メーカーでの原材料別消費量

(単位：千 t)

原材料	年	2000 年	2005 年	2010 年	2016 年	2017 年		
						消費量	構成比 (%)	対前年比 (%)
自製パルプ		28,362	28,460	25,989	23,605	23,603	22.7	0.0
市販パルプ		18,015	19,032	17,860	17,780	18,128	17.4	2.0
古紙		40,922	46,745	48,122	47,625	48,292	46.4	1.4
非繊維材料		15,547	16,498	16,165	14,095	13,969	13.4	-0.9
合計		102,846	110,735	108,136	103,105	103,991	100.0	0.9

※ 2016 年まで木材パルプ、非木材パルプと区分されていたが 2017 年から自製パルプ、市販パルプの区分に変更された。

※ 自製パルプはパルプ製造から抄紙まで行う一貫工場で製造されたパルプを示す。

表 5 2017 年 CEPI 構成国の製品品種別古紙消費量

古紙品種	ミックス古紙 (千 t)	段ボール古紙 (千 t)	新聞・雑誌古紙 (千 t)	その他の古紙* (千 t)	古紙消費量合計 (千 t)	古紙消費量製品品種割合 (%)	製品品種別生産量 (千 t)	製品品種別古紙利用率 (%)
新聞用紙	30	0	5,449	144	5,623	11.7	6,040	93.1
その他印刷用紙	38	5	2,834	625	3,502	7.3	27,292	12.8
小計	68	5	8,284	768	9,125	18.9	33,332	27.4
段ボール原紙	4,804	21,165	33	861	26,863	55.7	29,126	92.2
紙器用板紙	1,735	592	103	857	3,287	6.8	9,438	34.8
包装紙	2,165	1,786	221	522	4,695	9.7	8,719	53.8
小計	8,705	23,544	358	2,239	34,845	72.2	47,283	73.7
衛生用紙	268	134	535	1,876	2,812	5.8	7,438	37.8
その他用紙	187	1,105	34	148	1,475	3.1	4,121	35.8
合計	9,228	24,787	9,210	5,032	48,258	100.0	92,173	52.4
構成比 (%)	19.1	51.4	19.1	10.4	100.0	—	—	—

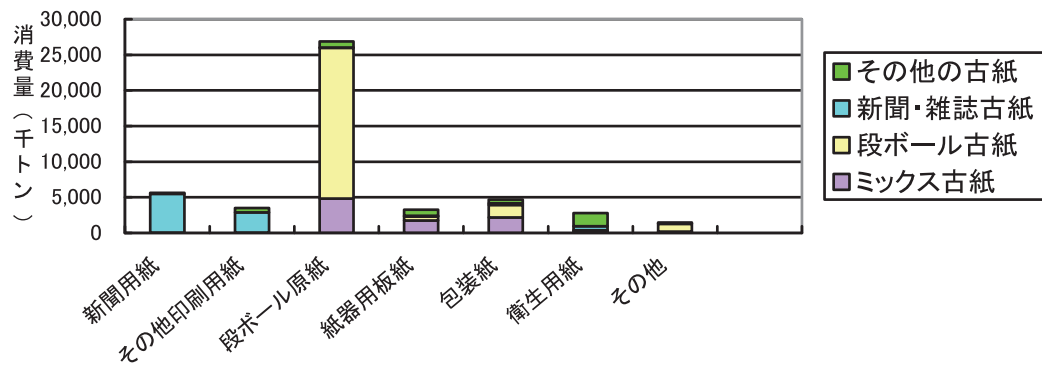


図1 製品品種別古紙消費量

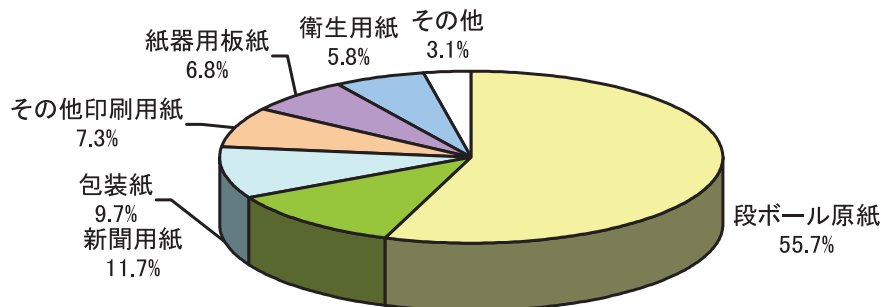


図2 古紙消費量製品品種割合

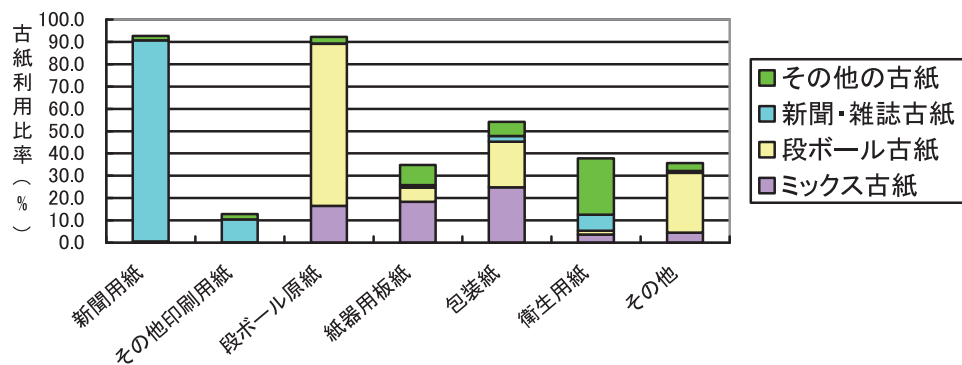


図3 製品品種別古紙利用率

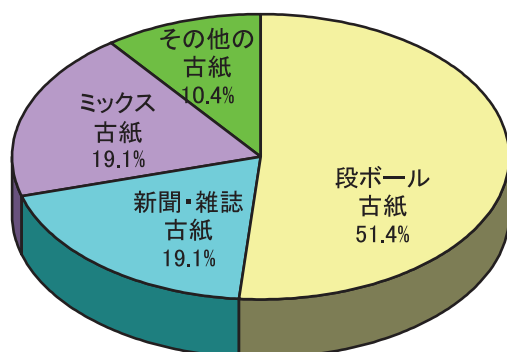


図4 古紙品種別消費量構成比

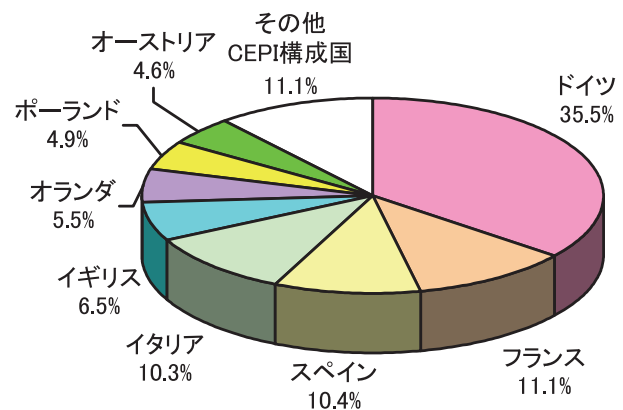


図5 CEPI 構成国別古紙消費量割合

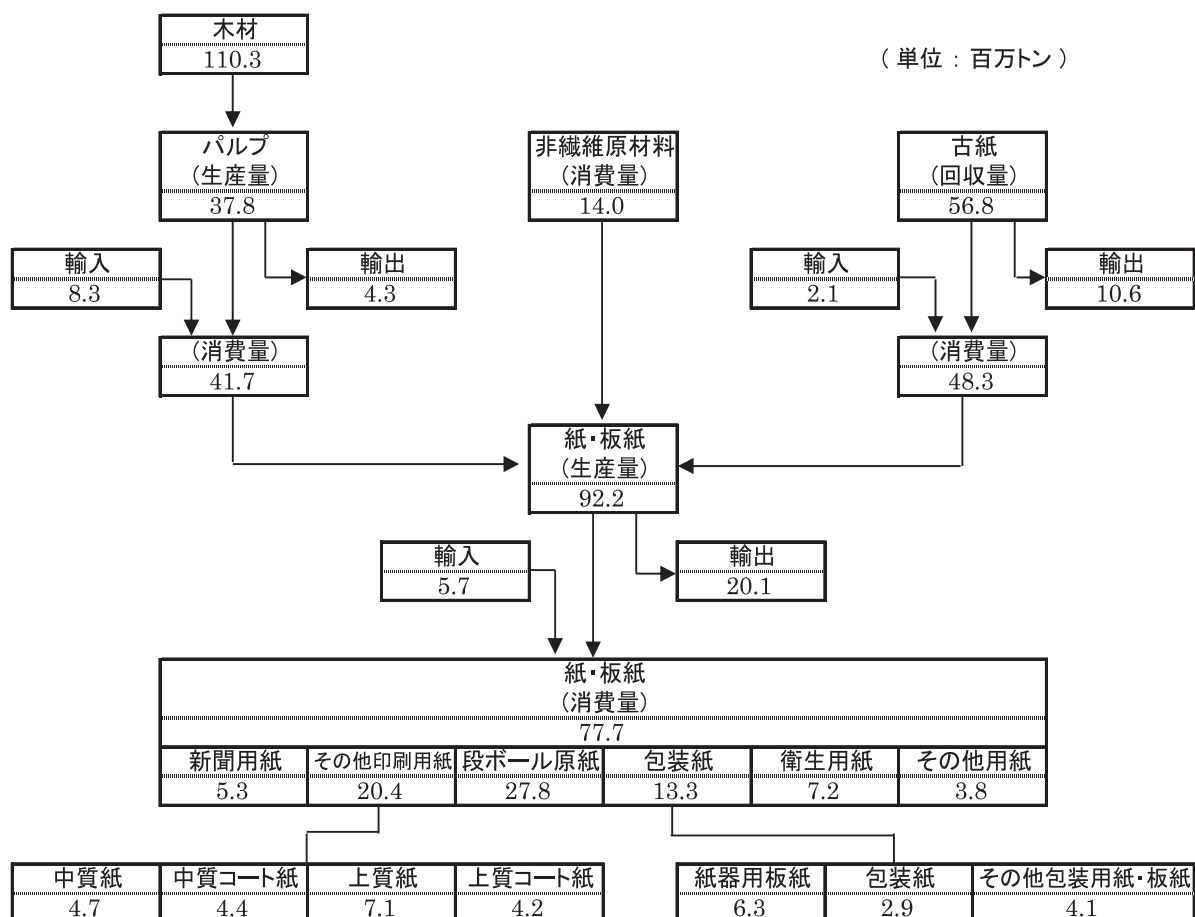


図6 2017年CEPI構成国の紙・パルプ産業
(原材料から製品までの物流の流れ)

(1) <http://www.cepi.org>

(2) 欧州製紙連合会構成国：オーストリア、ベルギー、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、イギリス

(3) 紙・板紙消費量 = CEPI 構成国の生産量 + CEPI 構成国以外からの輸入量 - CEPI 構成国以外への輸出量

米国の古紙統計（2008年～2017年）

米国森林・製紙協会（American Forest & Paper Association, AFPA）の古紙利用統計から、世界最大の古紙輸出国である米国の古紙の利用状況を紹介する。

1 古紙利用率

古紙利用率と古紙回収率は次のように定義され、輸出入量には紙・板紙利用製品が含まれる。

古紙利用率＝（古紙消費量）÷（紙・板紙の総生産量）

古紙回収率＝（古紙回収量）÷（紙・板紙の供給量（生産量＋輸入量－輸出量））

1.1 古紙の回収率と利用率

米国の古紙回収率は、2009年から2011年まで増加したが、2012年、2013年は減少した。2014年から2016年は再び増加するものの、2017年は65.8%で減少した。

古紙利用率は2008年から2014年まではほぼ横ばいで推移した。2015年からは増加し、2017年は39.3%になった。

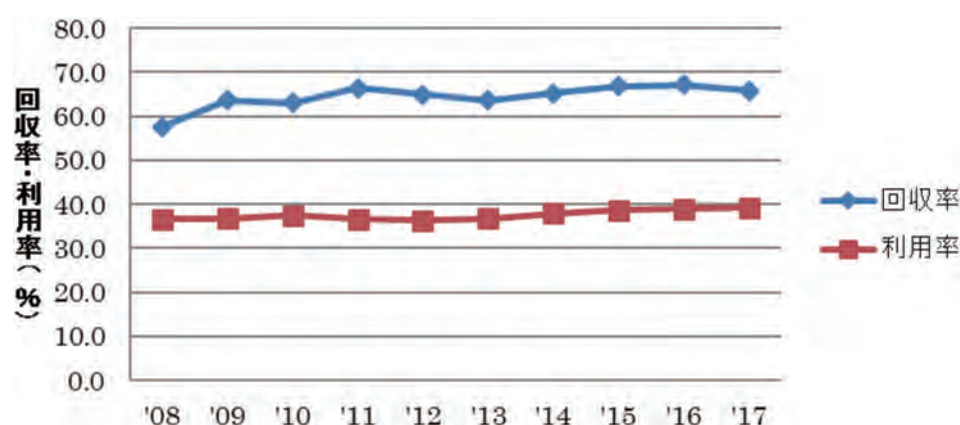


図1 古紙の回収率と利用率の推移

表1 紙・板紙の生産量と供給量、古紙の回収量、回収率、消費量、利用率の推移（％，千トン）

年	区分	紙・板紙 生産量 ^注	紙・板紙 供給量 ^注	古紙 回収量	古紙 回収率	古紙 消費量 ^注	古紙 利用率
2008		80,220	81,483	47,003	57.7	29,385	36.6
2009		71,709	71,390	45,383	63.6	26,347	36.7
2010		75,918	74,178	46,751	63.0	28,423	37.4
2011		75,032	72,056	47,860	66.4	27,476	36.6
2012		74,222	71,307	46,340	65.0	26,936	36.3
2013		73,763	71,436	45,466	63.6	27,145	36.8
2014		73,082	71,203	46,412	65.2	27,664	37.9
2015		72,382	70,652	47,200	66.8	27,994	38.7
2016		71,788	70,501	47,342	67.2	27,966	39.0
2017		71,919	70,083	46,096	65.8	28,265	39.3

注：紙・板紙生産量・消費量、古紙消費量は、建材用紙およびボードを含む

¹ American Forest & Paper Association, Annual Statistical Summary of Recovered Paper Utilization, June 2018

1.2 紙・板紙別古紙利用率

紙の古紙利用率は、2009年から徐々に減少し、2013年には21.8%まで減少した。2014年は22.9%に増加したものの2016年から再び減少し、2017年は22.3%になった。

板紙の古紙利用率は、2009年から2012年まで徐々に減少したが、2013年から増加に転じ2017年は47.8%になった。

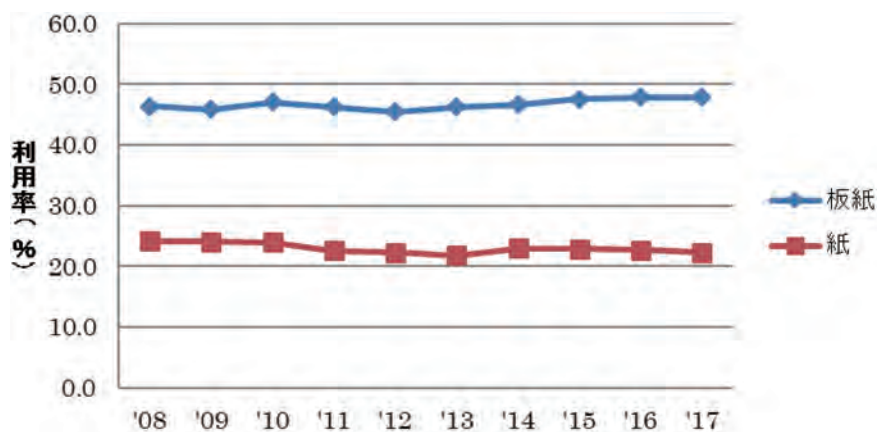


図2 紙・板紙別古紙利用率の推移

表2 紙・板紙別の生産量及び古紙消費量、古紙利用率の推移 (千トン, %)

年	区分	紙			板紙 ^{注1}			建材用紙およびボード、 他用途 ^{注2} 古紙消費量
		生産量	古紙消費量	古紙利用率	生産量	古紙消費量	古紙利用率	
2008		35,333	8,538	24.2	43,940	20,355	46.3	1,167
2009		30,633	7,384	24.1	40,353	18,521	45.9	715
2010		32,199	7,724	24.0	43,046	20,248	47.0	723
2011		31,150	7,039	22.6	43,227	19,989	46.2	719
2012		30,060	6,696	22.3	43,453	19,746	45.4	766
2013		29,321	6,393	21.8	43,672	20,203	46.3	821
2014		27,883	6,391	22.9	44,479	20,738	46.6	965
2015		26,849	6,139	22.9	44,807	21,317	47.6	970
2016		25,950	5,869	22.6	45,106	21,557	47.8	994
2017		24,912	5,558	22.3	46,318	22,145	47.8	1,015

注1：再生箱用板紙、再生コンテナボード、セミケミカル板紙、クラフトライナー、その他のクラフト板紙の合計（建材用紙およびボードは含まない）

注2：他用途とは、断熱材、メールバッグなどのその他の最終用途（パルプモールドは含まれない）

1.3 紙品種別の古紙利用率

紙品種別の古紙利用率をみると、新聞用紙は2010年から急激な減少が続き、2017年は6.5%まで減少した。ティッシュは近年減少傾向にあり、2017年は55.4%になった。包装紙・工業用紙・加工紙は2013年まで横ばいで推移していたが2014年に増加し、2017年は22.6%になった。

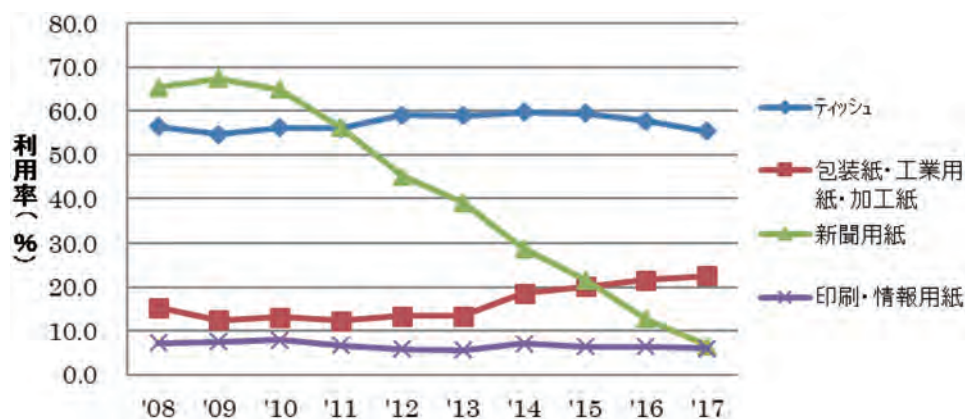


図3 紙品種別の古紙利用率の推移

1.4 板紙品種別の古紙利用率

板紙品種別の古紙利用率をみると、再生箱用板紙と再生コンテナボードは100%を超え、ほぼ横ばいで推移した。セミケミカル板紙は2012年から2015年まで増加したがその後減少し、2017年は44.4%になった。

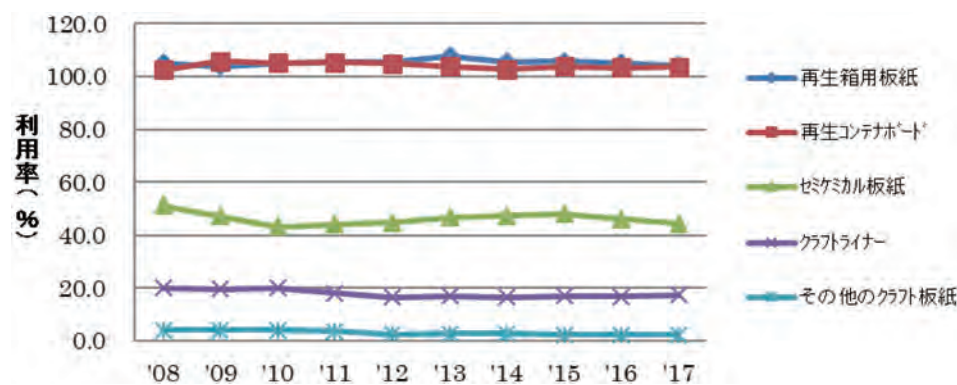


図4 板紙品種別の古紙利用率の推移

2 古紙品種別消費原単位

古紙品種別消費原単位を次のように定義する。

古紙品種別消費原単位 = (古紙品種別消費量) ÷ (紙・板紙製品別生産量)

2.1 紙全体

米国の紙全体の古紙消費原単位は、2009 年から徐々に減少し、2013 年には 0.218 まで減少した。2014 年は 0.229 に増加したもののその後減少し、2017 年は 0.223 となった。

古紙品種別消費原単位を見ると、高級脱インキは 2009 年から 2016 年まで増加傾向で推移したが、2017 年は減少し 0.109 になった。段ボールは 2009 年から増加傾向で推移し、2017 年は 0.041 になった。一方、新聞古紙（以下、新聞）は 2009 年から減少傾向で推移し、2017 年は 0.021 になった。

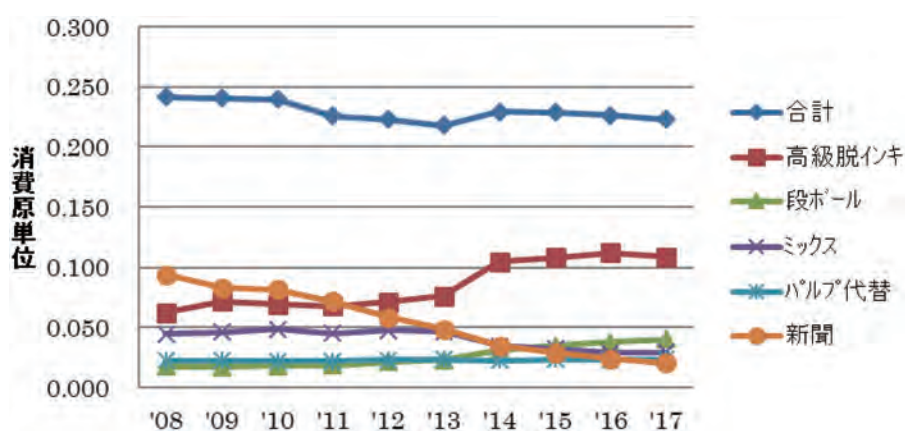


図 5 紙全体の古紙品種別消費原単位の推移

2.2 板紙全体

板紙全体の古紙消費原単位は微増で推移し、2017 年は 0.478 になった。

古紙品種別消費原単位を見ると、段ボールは微増で推移し、その後は横ばいで推移した。

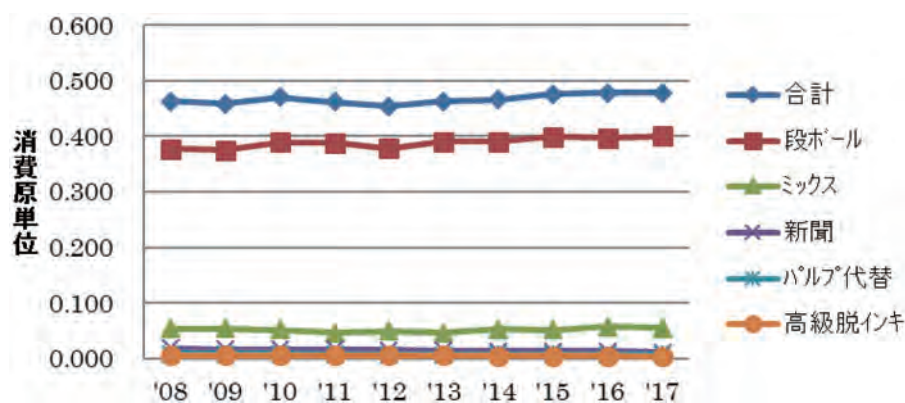


図 6 板紙の古紙品種別消費原単位の推移

3 古紙輸出量

3.1 古紙品種別輸出量

米国の古紙輸出は2011年まで著しく増加していたが、2012年、2013年と連続して減少した。2014年から2016年まで再び増加したが2017年は減少し、総輸出量は18,275千トンになった。

古紙品種別にみると、段ボールは2012年まで増加していたが、2013年に減少した。2014年から2016年まで再び増加したが、2017年は減少し、8,982千トンになった。ミックスは2010年に大きく減少した後、減少傾向で推移し、2017年は3,545千トンになった。新聞は2012年以降横ばいで推移し、2017年は4,088千トンになった。

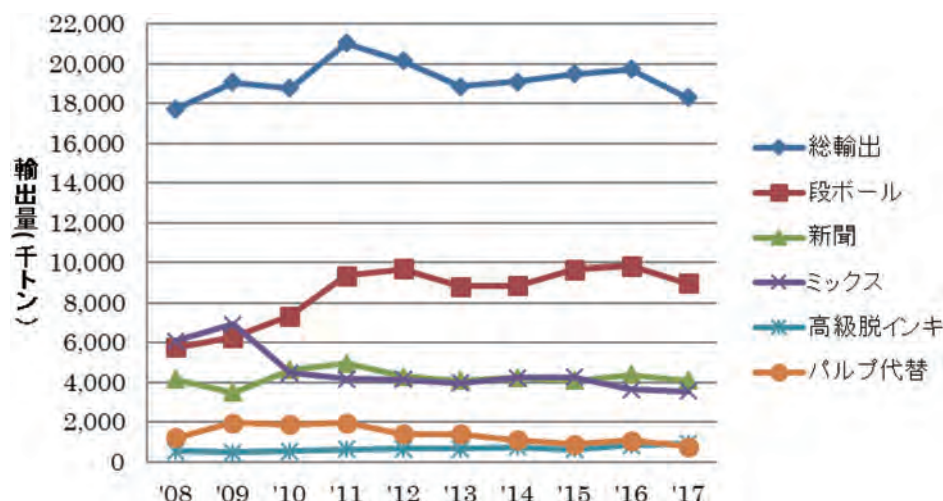


図7 古紙品種別輸出量の推移

3.2 地域別古紙輸出量

地域別にみると、中国向けの輸出は2011年まで増加したが、2013年の中国の輸入古紙税関検査強化「グリーンフェンス」の影響により減少し、さらに2017年の外国の廃棄物違法輸入摘発プロジェクト「ナショナル・ソード」及び古紙輸入ライセンスの見直しにより、10,874千トンまで減少した。なお、中国は2018年1月から未選別古紙の輸入を禁止した。

中国を除くアジアは2013年を除けば増加傾向で推移し、2017年は4,477千トンになった。

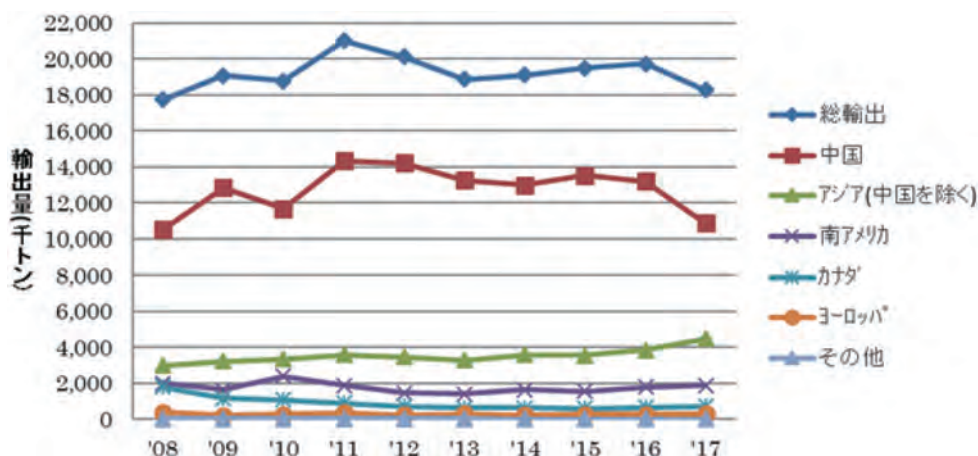


図8 地域別古紙輸出量の推移

月 日	会 議 名	主 要 議 題
6月7日(木)	中・四国地区委員会	①製紙メーカーの生産状況及び古紙在庫状況について ②古紙需給動向について ③古紙品質トラブル報告 ④集団回収感謝状交付進捗状況 ⑤集団回収特別活動賞の新規設置説明 ⑥中・四国地区委員会の年間日程について ⑦その他
	九州地区委員会	①最近の古紙動向について ②平成 29 年度活動報告 ③平成 30 年度地区委員会行事 ④その他
6月8日(金)	中部地区委員会総会	①平成 29 年度決算報告及び監査報告 ②地区委員移動状況報告 ③平成 29 年度地区事業費の決算及び平成 30 年度予算の報告 ④平成 29 年度広報宣伝事業報告及び平成 30 年度事業計画 ⑤次回の開催予定について ⑥その他
6月15日(金)	定時評議員会	第 1 号議案 平成 29 年度決算報告の承認について 第 2 号議案 理事の選任について 報告事項 平成 29 年度事業報告について
	臨時理事会	報告事項 定時評議員会の決議事項等について 第 1 号議案 業務執行理事の選定について 第 2 号議案 副理事長の選定について 第 3 号議案 専務理事の選定について 第 4 号議案 常勤役員の報酬について
	第 3 回業務委員会	①定時評議員会報告について ②臨時理事会報告について ③各地区の古紙需給動向について ④その他
6月19日(火)	関東地区委員会	①古紙需給動向について(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向について(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④古紙未来懇話会平成 29 年度報告 ⑤その他 ・今後の関東地区委員会等の開催予定
6月26日(火)	第 1 回新潟分会	①古紙需給報告 ②平成 30 年度集団回収団体顕彰事業について ③オフィス古紙回収モデル事業について ④共販事業について ⑤その他
6月27日(水)	静岡地区委員会	①5 月度紙・板紙需給速報 ②古紙需給動向について ③紙リサイクル広報活動 ・集団回収実施団体への感謝状贈呈について ・集団回収感謝状贈呈式の日程について ・紙リサイクル出前授業の計画 ・静岡県工業技術研究所フェアへの参加について ④地区事業について ⑤その他
7月5日(木)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表について ②古紙需給動向について ③平成 30 年 7 月～12 月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ④北海道製紙原料直納商業組合の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑤古紙消費量、在庫量推移 ⑥集団回収実施団体への感謝状贈呈実績について ⑦平成 30 年度リサイクルペーパーフェアについて ⑧「紙リサイクルコンテスト 2018」について ⑨その他 平成 30 年度集団回収実施団体への感謝状贈呈式

月 日	会 議 名	主 要 議 題
7月12日(木)	東北地区委員会	①業務委員会報告 ②関東地区委員会報告 ③古紙需給動向について ④その他 ・ 次回の移動例会について ・ 集団回収感謝状贈呈式の日程について ・ 仙台エコフェスタ 2018 出展内容の検討
7月23日(月)	近畿地区委員会	①古紙需給動向について ②検収委員会報告 ③出前授業の開催について ④その他
7月25日(水)	関東地区委員会	①古紙需給動向について(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向について(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④段ボール、新聞、雑誌の2018年4月～6月消費実績・2018年7月～12月計画 ⑤その他 ・ 紙リサイクル出前授業テキスト改訂版説明会について ・ 古紙回収写真コンクールの実施について ・ 平成30年度「紙リサイクルセミナー」について ・ 「第7回日中古紙セミナー」について ・ 今後の関東地区委員会等の開催予定
7月26日(木)	7月度常任理事会	①家庭紙メーカーへの賛助会員加入要請について ②第7回日中古紙セミナーについて ③紙リサイクルセミナーについて ④タイ・ベトナム調査について ⑤通販用緩衝封筒混入によるトラブル防止について ⑥集団回収実施団体への感謝状贈呈について(静岡地区委員会推薦) ⑦職員の採用について ⑧平成30年7月～12月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ⑨平成30年度第4回業務委員会上程事項について ⑩その他
	第4回業務委員会	①各地区の古紙需給動向について ②平成30年7月～12月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について(静岡地区委員会推薦) ④第7回日中古紙セミナーについて ⑤紙リサイクルセミナーについて ⑥海外古紙情報について ⑦その他
8月9日(木)	中部地区委員会東海分会	①古紙需給動向について ②ごみ非常事態宣言20周年記念イベント ③紙リサイクル出前授業の進捗状況 ④集団回収実施団体への感謝状贈呈について ⑤業務委員会報告 ⑥その他
8月21日(火)	静岡地区委員会	集団回収実施団体への感謝状贈呈式 ①古紙需給動向について ②広報事業について ・ 紙リサイクル出前授業の実施報告と今後の計画 ・ 静岡県工業技術研究所フェア参加報告 ③地区事業について ④その他 ・ 古紙回収の写真コンクール作品募集について ・ 古紙品質トラブル報告 ・ 次回地区委員会の予定

ホームページのリニューアルについて

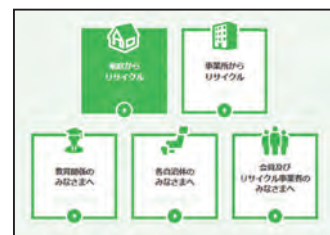
センターでは、平成30年8月からホームページをリニューアルしましたので、ご紹介します。

【リニューアルのポイント】

- ①スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末での閲覧にも対応したホームページに変更しました。
- ②検索しやすいよう「グローバルナビ」、「サイト内検索」、「よくある質問」などを新設しました。
- ③求める情報にアクセスしやすいよう家庭、事業者、教育関係者、自治体職員、会員及びリサイクル事業者など項目毎に分類しました。



【グローバルナビ】



【利用者毎の項目分類】

【新規コンテンツの導入】

新たに以下のコンテンツを導入致しました。

①紙リサイクル〇×クイズ

児童を対象に紙リサイクルについてゲーム感覚で学べるクイズコーナーを新設しました。



②古紙分別チェッカー

古紙の分別について確認できる検索ツールを新設しました。



③公式ソング

『かみの「か」を「ご」にかえないで!』を視聴できるようにしました。



④数字でみる古紙再生

紙のリサイクルに関する主要な統計を数値やグラフで分かりやすく見ることができるようコーナーを設けました。



◇編集後記

本号では、各地区委員会が実施した地域広報活動について記事にしました。各地で行われた環境イベント等で古紙の分別ゲーム、紙すき体験、啓発パネルの展示や資料の配布を通して紙リサイクルへの協力を呼びかけました。来場者の方は楽しみながら催しに参加し、紙リサイクルについて考えるきっかけになったかと思います。

また、平成30年8月にリニューアルしたセンターホームページの内容について紹介しています。様々な方にご覧いただけるよう、タブレットやスマートフォンに対応したページを追加し、一般の方や児童向けのコンテンツも充実させました。

多くの方に紙リサイクルの情報を発信するよう努めて参りますので、ご利用願います。
(武石)

地区委員会事務局

地 区	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号 F A X 番 号
北 海 道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル4階	011 (271) 1551 011 (232) 0017
東 北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事(株)北日本支社内	022 (225) 3359 022 (261) 4522
関 東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822 03 (3537) 6823
静 岡	417-0801	富士市大淵2590番1号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270 0545 (35) 5026
中 部	450-0002	名古屋市市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836 052 (581) 6943
近 畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315 06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙(株)内	0896 (23) 9124 0896 (23) 4411
九 州	812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目13番27号 グランドハイツ博多314号	092 (292) 5381 092 (292) 5382

会報

第44巻 第4号
2018年10月25日

発行所
公益財団法人 古紙再生促進センター
〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号
(新富町ビル4F)
電話 03 (3537) 6822 (代表)
ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 岡 村 光 二
印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性®

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。